

各位

会社名：ウインテスト株式会社
 (コード：6721 東証二部)
 代表者名：代表取締役社長 姜 輝
 問合せ先：専務取締役 樋口 真康
 (TEL：045-317-7888)

第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年2月15日に公表いたしました2021年12月期第2四半期累計期間（2021年1月1日～2021年6月30日）の業績予想と本日公表予定の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。なお、2021年12月31日通期連結業績予想についての変更はありません。

記

1. 第2四半期業績予想と実績値との差異

(1) 2021年12月期第2四半期（累計）連結業績予想数値と実績の差異

(2021年1月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 第2四半期（累計）(A)	百万円 562	百万円 △170	百万円 △170	百万円 △170	円 銭 △5.15
今回修正予想 第2四半期（累計）(B)	百万円 176	百万円 △385	百万円 △342	百万円 △343	円 銭 △10.40
増減額(B- A)	△386	△215	△172	△173	
増減率(%)	△68.7	—	—	—	

なお、前期は5カ月間の変則決算となったため第2四半期がありませんでしたので、前期第2四半期ご参考数値は記載していません。

(2) 差異の生じた理由

第2四半期に売上予定として出荷を完了した複数台の検査装置に関しては、コロナ禍における渡航など技術者の移動に制限があることから現場作業に時間を要し顧客からの検収に時間を要したことから、売上は第3四半期以降にずれ込むこととなりました。その結果、第2四半期末における売上と営業利益は、2021年2月15日発表の売上予想数値を下回る結果となりました。

受注に関しては、当第1四半期におきまして、昨年10月に発表した新LCDドライバーIC検査装置WTS-577SRの導入引合いに関する顧客からのご要請に応え、本年1月末より量産工場導入を前提とした評価を目的として複数のデザインハウス及び有力OSATへ当該装置の貸出を伴う積極的なベンチマークを行い、評価中のお客様からは、高評価を頂きつつあり8月10日に受注を頂きました。しかしベンチマーク期間は短くても3か月～6か月程度を要すことから、第2四半期までの受注は低調に推移しました。

2. 通期業績予想について

2021年12月期通期連結業績予想数値について

製造部材の早期調達が進んでいること、またベンチマークの結果に好評価を頂き受注に結び付きつつあることから、2021年12月期通期連結業績予想に変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以上